

2024 年度（総合型選抜）AO選抜入学試験
文学部 地域研究学域 「人文学プロポーズ方式」

1. 実施状況

志願者数、合格者数等

学科・学域・専攻	志願者数	一次合格者数	最終合格者数
地域研究学域	34	16	14

2. 第一次選考<ES(エントリーシート)と課題レポート・志望理由書等>

(1) 評価ポイント

エントリーシートについては、調査書に記載された科目の履修状況・成績・評定平均値などによって高校での学習状況を把握した上で、志望理由ならびに入学後に学びたいと考えている分野やテーマなどを確認しました。その際、当学域と関連付けて、どのような学びや目標を学生生活において実現しようと考えているのか、また卒業後の将来計画の具体性にも着目しました。

課題レポートについては、学域として地図と写真を活用した地域研究的視点からの論述を課しました。ここでは、地図の読図および表現に関する基礎的学力のほか、研究テーマにしっかりと対応した地図、写真の活用がなされているか、そして文章説明の論述展開が明解であるかなどを、それぞれ評価しました。

(2) 解答状況

エントリーシートについては、おおむね当学域の学びと関連付けて、高校における学習状況、特筆すべき活動、志望動機、将来計画などが具体的に記述されていました。

課題レポートについては、一部に地図・写真と文章説明との対応が不十分であるもの、地図や写真の表現の適切さに欠けるものなどが見受けられましたが、説得的な地理的事象の説明とともに、自身で主題図を作成し、適切な写真の活用も行うなど、課題レポートの出題意図に沿ったものもありました。

3. 第二次選考

(1) 評価ポイント

学域の志望動機のほか、地域研究において重要な基礎的学力、探究したいテーマの具体的設定、そしてそれにもとづく学習・研究計画が設計できているか、また、質問に対して適切な解答ができるか、といった点を評価のポイントとしました。

(2) 解答状況

多くの受験者が地域研究に関して、より具体的で明確な興味関心を持ち、自身で学習した知識の中でテーマ・計画を設定し、解答を行っている状況が見られました。他方でテーマが曖昧で研究計画も具体性に欠ける解答もありました。

(3) 試験（プレゼンテーション・面接）内容

探究したいテーマについての 10 分間のプレゼンテーションの後、その内容に対する質

疑を行いました。つづく面接では、志望動機ならびに地域研究の知識や方法、経験、入学後の学習・研究計画の設計状況について、より具体的に問いました。

(4) 出題（プレゼンテーション・面接）の意図

地域研究学域では、地域に関してより具体的な問題意識をもち、研究課題を設定しているかが重要となるため、その点に関わる資質、および学習がなされているかを問いました。

(5) 受験生に望むこと、その他気付いた点

日頃から、身近な環境においても世界で起きている事象の中でも、地域社会の歴史や現状について、様々な方向から興味関心をもって、見ておくことを求めます。また、ここで見つけた課題を探究するための知識や方法についても意欲的に学習すること、幅広い視野から地域的課題についてとらえる洞察力を身につけること、そしてそれらを的確に表現するための文章説明・プレゼンテーション能力も磨いておくといよいでしょう。入学後、地域研究を実践するにあたって、率先して同級生をリードしていく意気込みのある受験生を期待しています。

以上